



明けましておめでとうございます！

新しい一年が始まりました！まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしですか？

こんな時こそ外で運動してあったかくなろう！と思うのですが、なかなか暖房の前から愛犬共々離れられない・・・

今年こそは健康第一にといきたいものです。

今回はワンちゃんの歯周病のお話です。

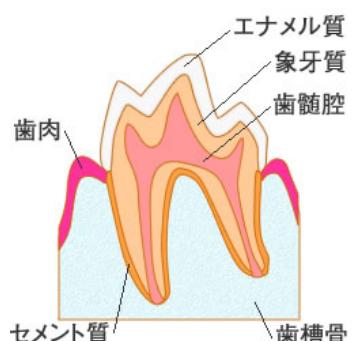


? 歯周病

3歳以上の犬によく見られ、歯肉、歯槽骨、セメント質、歯根膜が炎症を起こし、破壊される疾患。歯肉炎、歯周炎の総称。

症状は歯の表面に歯垢・歯石が付着し、歯肉が腫れ、口臭があり、進行すると歯と歯肉の間から膿や出血が見られる。歯がぐらつき、抜ける場合もある。

さらに歯周組織から細菌や毒素などが血中に入り込み、全身性の病気を引き起こす恐れもある。



治療

程度にもよるが全身麻酔科での歯石除去、歯周組織が重度に破壊された場合は抜歯も行われる。



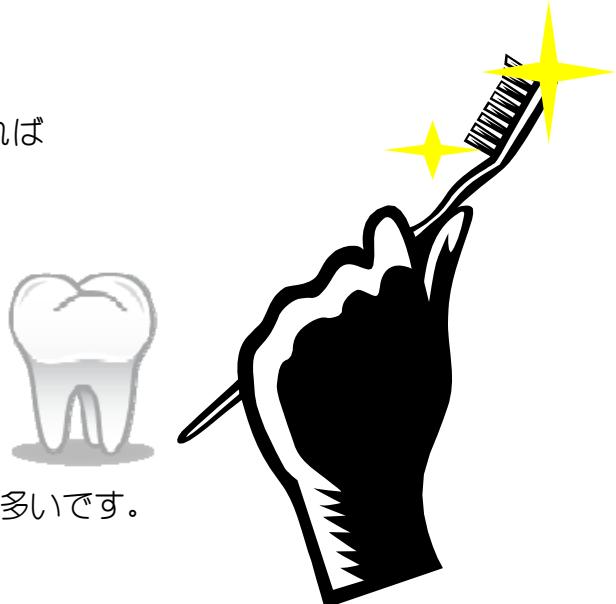
予防

歯石除去で歯がきれいになっても予防しなければ
また歯石がついてしまいます。

その予防とは**歯磨き**です！

歯磨き

とは言っても、始めから口を触ると嫌がる子も多いです。
なので、始めは



1. 口に触れるのに慣れさせる

口を触らせてくれば、その度に褒めてあげたり、おやつをあげたり、
触らせたらいいことがある！と思わせます。

2. 指にガーゼを巻いて口の中に入れてみる

水やお湯でガーゼを濡らして優しく歯の側面を
撫でるように行います。
実はこれだけでも十分！どうしても歯ブラシは・・・
という子はこれでも大丈夫です。
もちろん、褒めることも忘れずに！



3. 慣れてきたら初めて歯ブラシを使う

始めは動かさずに、口に入れることから。回数を重ね、徐々に慣れて
きたら、水やお湯、動物用の歯磨きペーストをつけて優しく撫でるように
磨いてあげましょう。



1日1回は口の中を見て、歯肉や
歯の様子をチェックしてあげよう！

担当:平野